

2018年医療・介護同時改定対策編

病院・老健・通所系・住まい系併設事業所に厳しい改定！

改定率 診療報酬 +0.55%? 介護報酬 +0.54%?

やるべきことをしている(本当の)病院・施設・事業所が生き残る！

- 入院医療評価体系:3類型 2階建て方式? 基本料+加算?(介護報酬と同じような体系)
 - ①一般病棟基本料(7対1、10対1再編統合)、10対1を基本に出来高(要件)で7対1の報酬
 - ②集中的なりハと退院支援(13対1、15対1再編統合)、15対1を基本に出来高で13対1の報酬
 - ③長期療養支援:(20対1、25対1再編統合)の新体系、
 - *重症度の低い患者の入院・長期化の病院は・・・「病院」の看板なくなる?
- 介護老人保健施設は:在宅復帰・在宅支援を基本に
 - ①現行加算型を基本額?として、「従来型」減算?「加算型」基本「強化型」は加算型へ
 - ②より一層の在宅復帰強化を目指す(復帰率70%?)老健を評価する=強化型
2021年3月までに在宅復帰30%未満は「老健」の看板なくなる?
- 通所介護と通所リハの役割明確
 - ①通所介護:「維持とレスパイト」、短時間リハ特化型は減算?機能訓練・入浴・預かりも必要項目
 - *機能訓練のない事業所減算 *時間1時間単位の報酬で減算
 - ②通りハ:機能回復(リハビリ)主体・短時間を基本
 - *3時間以上は通所介護と同等扱い:減算、但しリハマネで機能訓練等の評価
- 住宅系併設事業所(居宅・訪問・通所系)への適正化(厳しい改定)

1、日時と主な内容 3月5日(月) 9:00~16:30 講師:所長 竹重俊文

- ① 2025年に向けた地域包括ケアシステムの構築の方向(国の方向)
- ② 2018年医療・介護・福祉の報酬改定の解説と対策
- ③ 各サービスの論点と対策(居宅・施設・住まい系サービス)

2、会場 松山市子規記念博物館 松山市道後公園1-30

3、対象者 経営者・幹部・管理者・リーダー、セラピスト等 定員60名

4、参加費 3,000円(各回)

5、今後の開催日程 第2回5月25日(土)改定の内容確認(Q&A)と次期2020年・2021年対策

参加申込書 (FAX:0268-75-5270)

法人名: _____

TEL: _____ FAX: _____

NO	氏名	役職	参加費:3,000円
1			
2			
3			
4			